

平成30年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（2月7日現在）

(下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム①番窓口で見ることができます。)

| 奨学団体等 | 必要資格 | 支援機構 奨学金 との重複 | 対象学年 (注意:平成30年4月時点の学年) | 金額 | 給付・貸与 の別 | 募集人員 (全国で) | 募集要項の ＜請求先＞ | 申請書類の ＜提出先＞ | 提出期限 |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------|-------------------------------|--|---|----------------------------|
| 公益財団法人 東ソー奨学会 | 学費の支弁が困難と認められる大学院生(修士、博士前期、博士後期)及び 学部3、4年生で、品行方正、学術優秀、身体強健な者。 | 記載なし | 大学院生(修士、博士前期、 博士後期) 学部3、4年生 | 学部生 月額 3万円 大学院生 月額 5万円 | 貸与 | 若干名 | 大学 (学生支援チーム) | 大学 (学生支援チーム) | 4月9日 (17時15分) |
| 一般財団法人 金澤磐夫記念財団 | 日本から海外の大学・大学院への留学を希望し、1年以上の入学を許可された者。 留学先での単位取得を目指す者(交換留学生は含まない)。 | 記載なし | 全学年対象 | 年額 100万円 (渡航費用として50万円 給付後、6ヶ月後の学業 報告の内容により、さらに 50万円の給付を決定す る) | 給付 | 記載なし | 金澤磐夫記念財団 ホームページ(リンク) | 一般財団法人 金澤磐夫記念財団 事務局 天内様 | 4月1日～ 4月30日 (17時必着) |
| 公益財団法人 日本通運育英会 平成30年度奨学生 | 学術優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由により修学が困難な者 | 記載なし | 学部1・2年生 | 3万円 | 貸与 | 全国で30名 | 大学 (学生支援チーム) | 日本通運育英会 (4/13までに大学に推薦書 作成を依頼すること) | 4月1日～ 4月20日 (応募書類必着) |
| 公益信託 松尾金蔵記念奨学基金 | 大学院において文学、哲学、宗教学、美学、美術史、言語学、人文地理学、教育学、 心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会学)を学ぶ、平成30年4月現在におけ る修士課程(博士前期課程)及び博士課程(博士後期課程)1年次の学生(留学生を除 く)で、次の各号に該当すると認められる者。 ①修士課程の応募者:家族の家計を支えるものの前年度収入、又は本年度の見込 みが原則800万円(税込総収入)以下とする(本人が独立生計の場合も同様)。 博士課程の応募者:本人の前年度収入または本年度見込みが原則250万円(税 込総収入)以下とする。 ②原則としてほかの奨学金(日本学生支援機構等の貸与型も含む)を受給してい ない者。他の奨学金との併願は可とするが、当基金で採択された場合はどちらか一 つを選択のこと。 ③品行方正、健康で学業成績が優秀な者。 ④平成30年4月1日現在、30歳以下の者。 | 不可 | 修士課程(博士前期課程) 博士課程(博士後期課程) の1年生 | 年額 100万円 | 給付 | 全国で10名 程度 | 大学 (学生支援チーム) | 大学 (学生支援チーム) | 4月13日 (17時厳守) |
| 公益財団法人 尚志社 | 次の①～⑤の条件を満たす者。 ①成績基準 学部生・修士1年:本人の属する学部(科)の上位10%以内 博士1年:大学及び大学院における成績が特に優れていること。 ②年齢基準(平成30年4月2日現在) 学部4年:26歳未満(学部5年は27歳未満) 修士1年(30歳未満) 博士1年(35歳未満) ③奨学生選考委員会による面接を必ず受けることができること。 ④奨学金受給期間中は当財団が定期的実施する社友懇話会(年1回)に必ず出席 すること。また、受給期間終了後もできるだけ参加すること。 ⑤受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)機関誌「尚志」に必ず寄稿するこ と。 | 不可 (日本学生 支援機構 の貸与型 奨学金を除 く) | 医学部医学、大学院医学系研 究科(看護学専攻を除く)に在 学する日本人であって、次の 学年(受給開始時)の者とする。 学部生 6年生学科の4年又は5年 大学院生 修士課程(博士前期課程)1年 博士課程(博士後期課程)1年 | 入学金:大学院生のみ 実費(上限30万円) 授業料:学部・大学院共 に実費(上限100万円) 書籍及び下宿補助(月額) 4年自宅生 3万円 4年下宿生 4万円 5年・修士自宅生 4万円 5年・修士下宿生 5万円 博士自宅生 5万円 博士下宿生 6万円 | 給付 | 全国で36名 (内三重大学での 推薦枠は1名) | 大学 (学生支援チーム) | 大学 (学生支援チーム) | 4月6日 (17時厳守) |
| 公益財団法人シマノ財団 平成30年度奨学生 | ①学業・人物共に郵趣で経済的理由により修学が困難とみられる学生 ②年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団の行事に出席できる者及び年2回の状況 報告ができる者 ③他奨学金との併給は差支えない。ただし、合計額は10万円を超えない範囲とする ④工学部、理学部在籍の学生 ⑤30歳以下の学生 | 可 (ただし合 計額が10 万円を超え ない範囲 で) | 工学部の2年生及び3年生 (平成30年4月末時点) | 月額 2万5千円 | 給付 | 記載なし 当校からの 推薦枠は2名 | 大学 (学生支援チーム) | 大学 (学生支援チーム) | 4月13日 (17時厳守) |
| みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院 | 日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生 | 卒業後の 進路に指 定のある奨 学金との重 複は不可 | 医科大学・大学医学部の 学部生 | 月額 10万円 月額 15万円 | 貸与 (返還免除 制度あり) | 記載なし | 津生協病院 ホームページ(リンク) | 津生協病院 ホームページ(リンク) | 随時 |

| 奨学団体等 | 必要資格 | 支援機構 奨学金 との重複 | 対象学年 (注意:平成30年4月時点の学年) | 金額 | 給付・貸与 の別 | 募集人員 (全国で) | 募集要項の ＜請求先＞ | 申請書類の ＜提出先＞ | 提出期限 |
|---|--|---------------------|--|--|-------------|---------------|-------------------------|--|---|
| 山梨県ものづくり人材就業 支援事業費補助金 (奨学金返還補助事業) | 申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部若しくはこれに準ずる学部、研究科等(以下「大学等」という。)に在学し、次の各号の全てに該当する学生 (1)独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金(以下「第一種奨学金」という。)の貸与を受けていること。 (2)平成31年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発、製造部門への就職を希望していること。 (3)平成31年4月初日を起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること。 (4)平成30年度に卒業予定であること。 | 返還支援 | 現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (平成30年度中に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者) | 大学等の在学時に、奨学金として貸与を受けた額のうち、卒業前2年間に貸与を受けた額を上限とする | 返還支援 | 35人 | 大学 (学生支援チーム ①番窓口) | 山梨県産業労働部 産業人材育成課 ホームページ(リンク) | 10月1日～ 2月28日 ※ただし、毎月末に選考を行い、支給対象者が35名に達したところで募集は締切ます。 |



は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 平成30年4月30日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)